

松戸市市民交流会館指定管理者候補者審査委員会 議事録（第1回）

1. 日時

令和元年10月3日（木）14時00分～15時00分

2. 場所

松戸市役所 議会棟2階 第三委員会室

3. 出席者

<審査委員>

委員長 安登 利幸 氏（学識経験者）、副委員長 笹川 昭弘 市民部長（市職員）、
委員 中田 範子 氏（学識経験者）、藤井 敦 氏（有識者）、
市毛 一己 行政経営課長（市職員）、宮間 恵美子 市民自治課長（市職員）

<事務局>

市民自治課 岩月 慶一 専門監、直江 卓 課長補佐、佐藤 優 主任主事、
桜井 秀樹 主任主事、北島 真菜美 主任主事、横塚 あずさ 主事

4. 次第

（1）開会

- ① 委嘱状の交付
- ② 委員紹介
- ③ 事務局紹介

（2）議事

- ① 委員長及び副委員長の選任について
- ② 松戸市市民交流会館指定管理者審査委員会の諮問について
- ③ 応募状況の報告（応募資格確認結果の報告含む）
- ④ 応募者との利害関係に関する注意及び説明
- ⑤ 審査評価表（案）の説明及び審議
- ⑥ その他

（3）閉会

5. 配布資料

- （1）松戸市市民交流会館指定管理者候補者審査委員会委員名簿
- （2）諮問書（写）（議事②）
- （3）応募団体一覧表（議事③）
- （4）利害関係確認書（議事④）

- (5) 松戸市市民交流会館 指定管理者審査評価表（案）（議事⑤）
- (6) 財務分析による経営安定性評価（写）（議事⑤）
- (7) 審査委員会スケジュール

6. 議事概要

(1) 委嘱状交付式

- ① 委嘱状の交付
各委員に対して、委嘱状を交付。
- ② 委員自己紹介及び事務局の紹介
各委員より自己紹介をいただく。
事務局の紹介。

(2) 第1回松戸市指定管理者候補者審査委員会（松戸市市民交流会館）

- ① 委員長及び副委員長の選任について
委員の互選により、委員長に安登委員が、副委員長に笹川委員が選任され、安登委員長より挨拶をいただく。
- ② 松戸市市民交流会館指定管理者候補者審査委員会の諮問について市長から本委員会に対してなされた諮問の内容について事務局より説明。
- ③ 応募状況の報告について
応募があった3団体について、応募資格の確認を行い、応募資格上問題がない旨を事務局より説明。
- ④ 応募者との利害関係について
審査の公平性、公正性を保つため、応募があった3団体と利害関係にないか、併せて、守秘義務の遵守について委員に確認を行い、利害関係確認書へ署名を頂き、回収した。
- ⑤ 審査評価表（案）の説明について
事務局にて作成した審査評価表（案）について説明を行い、審査項目等の内容について確認を行うとともに、最低基準点について決定した。

<質疑応答>

※A委員（内部委員）、B委員（内部委員）、C委員（外部委員）

- A委員) 評価表にはA者B者C者って書いてあるのですが、そうするとこれABC一括で書くのですか。
- 事務局) 内容についてご審議をいただき、決定いたしましたものを最終的なものとしてA者分、B者分、C者分合計3セット本日中にお渡しいたします。

- B委員) 120点満点中の72点というのほどこかに記載がありましたか。
- 事務局) 松戸市で作成しております指定管理者制度運用マニュアルの方に、6割を基準点としますと提示しておりますので、市の方針に沿って交流会館についても、進めさせていただくことを考えております。
- C委員) 0点があった場合には協議するということでございますけど、これは最初選定された場合ですかね、それとも選定されていない、結果的に1位、2位、3位となった場合、2位3位に0点があった場合にもするのですか。これは選ばれたとき、1位になった時、優先交渉権者についてあった場合に行うということでしょうか。
- 事務局) 優先交渉権者は1位となりますけれども、万が一交渉が決裂した場合に2位3位と降りていきますので、もし3者の中で0点があった場合にはそれぞれご審議いただくということをお願いします。
- A委員) それぞれの選定基準(1)から(6)で20点満点とあるのですが、(5)だけが4項目あるかと思えます。それ以外は3項目ずつとなっていますが、そうするとその(5)だけが4項目で20点になりますよね。ここだけ4項目なのは何か意味があるのですか。
- 事務局) ここは事務局の方で、交流会館の実際の施設のことをいろいろと鑑て、考慮したうえで評価表を作っておりますので、その中でこの安定的な管理については確認したい項目が3項目では足りなくてですね。どうしてもこの4項目については必ず聞きたい内容ということで入れさせていただきました。
- A委員) でも配点は同じなのですね。
- 事務局) 最終的な配点はそうなります。
- 委員長) 他にございますでしょうか。よろしいでしょうか、また他に気付かれた点は後程質問していただけたらと思います。それではこの最低基準点の60%についてはよろしいですかね。はい、ありがとうございます。それではこの審査評価表案につきましては事務局案で良いということで、委員の方のご承諾をいただいたということにさせていただきます。

⑥ その他(今後のスケジュールについて)

第2回、第3回の委員会の内容等について事務局より説明。

- C委員) プレゼンの手順ですけどPFIの施設の時の共通認識として、順番はランダムでやられるところもあるのですが、これはABCの順番で呼ばれるんでしょうか。
- 事務局) 順番はA者B者C者の順番となります。
- C委員) 番号通りということですね。わかりました。プレゼンテーションをする時のやり方で、この内容に基づいてパワーポイントのみでやるということでもいいのですよね。

- 事務局) はい、そうです。
- C委員) プレゼンの内容などは紙ベースで配られるものはありますか？
- 事務局) 応募団体からの当日の配布資料はありません。
応募書類とプレゼンテーションのスクリーンを見ていただいて、後は応募団体がプレゼンをしていただくという形になります。
- C委員) 応募団体はそのパワーポイントをコピーしたものを配るということはない？
- 事務局) それはないです。
- C委員) そうですか、わかりました。
プレゼンが15分で質疑が20分ということですね。進行はどのような風にされますか。
- 事務局) 進行は事務局の方で行います。ストップウォッチで時間を区切って、ご案内いたします。
- C委員) わかりました。それで意見は自由ということですね。
私から一つ意見なのですが、中小企業診断士の評価について、こういうものを見るとときに多分中小企業診断士の方は同業他社で比較するということが一般的だと思います。例えば、この機械部品、自動車部品を作っている企業が10社あったとき横並びで同じ業態の中で順位をつけると。業態が違えば、全く違う世界なので、違う業態を三つ比較しているとなるとミスリードになってしまうかもしれない。そこは機械的にやってしまうと危ないかもしれないですね。たとえば三つ目とか給食屋さんをやっているところですから、飲食の中で比べればどうかということなのですが、他の業界とかと比べたら全然違う世界なので。そこについては注意してみないと、機械的にやると間違えた判断をしてしまうかもしれませんね。資料を読んで財務経営状況を判断するという事です。
また、これは、私が電話で事務局にお聞きしたのですが、応募団体の提案と評価表の細目とで同じことを二回評価しているのではないかと指摘を受ける可能性があるかもしれないですが、読み合わせたら重複はないような形で工夫されているという認識でよろしいのですよね。
- 事務局) はい。まるまる重複というものはないです。
- 委員長) それでは他に質問がございませんようでしたら、以上をもちまして、第1回松戸市市民交流会館指定管理者候補者審査委員会を閉会いたします。
ご協力ありがとうございました。お疲れ様でした。

松戸市市民交流会館指定管理者候補者審査委員会 議事録（第2回）

1. 日時

令和元年10月4日（金）14時00分～17時00分

2. 場所

松戸市役所 議会棟2階 第三委員会室

3. 出席者

<審査委員>

委員長 安登 利幸 氏（学識経験者）、副委員長 笹川 昭弘 市民部長（市職員）、
委員 中田 範子 氏（学識経験者）、藤井 敦 氏（有識者）、
市毛 一己 行政経営課長（市職員）、宮間 恵美子 市民自治課長（市職員）

<事務局>

市民自治課 岩月 慶一 専門監、直江 卓 課長補佐、佐藤 優 主任主事、
桜井 秀樹 主任主事、北島 真菜美 主任主事、横塚 あずさ 主事、
松本 謙 主事補

4. 次第

(1) 開会

(2) 議事

① プレゼンテーション審査の実施について

② その他

(3) 閉会

5. 配布資料

(1) 第2回松戸市指定管理者候補者審査委員会 タイムスケジュール

(2) 松戸市市民交流会館 指定管理者審査評価表

(3) 第3回松戸市指定管理者候補者審査委員会 タイムスケジュール

6. 議事概要

①プレゼンテーション審査

○A者のプレゼンテーション

A者がプレゼンテーションにて、提案内容を発表した。

その後、A者と委員による質疑応答を行った。

質疑応答終了後、応募団体が退席したのち、委員間での意見交換を行った。

○B者のプレゼンテーション

B者がプレゼンテーションにて、提案内容を発表した。

その後、B者と委員による質疑応答を行った。

質疑応答終了後、応募団体が退席したのち、委員間での意見交換を行った。

○C者のプレゼンテーション

C者がプレゼンテーションにて、提案内容を発表した。

その後、C者と委員による質疑応答を行った。

質疑応答終了後、応募団体が退席したのち、委員間での意見交換を行った。

②その他

○事務局から、第3回審査委員会の流れとタイムスケジュールについて説明した。

<A者プレゼンテーション>

<A者質疑応答>

※A委員（外部委員）、B委員（外部委員）、C委員（外部委員）、D委員（内部委員）、
E委員（内部委員）、F委員（内部委員）

A委員） プレゼンテーションありがとうございました。私から一つ質問ですけれど、現在稼働している施設で新しく提案されているということで、今現在の状態からここはよくなりますよというアピールはございますか。特に注目されている点、力を入れたいと思っている点がございましたら、お願い致します。

A者） 先ほどスライドの方でもありました交流会館には、子どもを育むという機能がありますので、元々新松戸の小学校であったということで地域に愛され、子どもたちが通っていた場所でもありますので、そこのゾーニングですとか、年齢層、赤ちゃんから学童期、中高生になるとそれぞれの使い方が違いますので、ゾーニングしながらそれぞれが利用している時に楽しめるような環境づくりをしたりですとか、プログラムの提案をさせていただいて、いろんな人々の交流、体験を増やしていくというところに重点を置いております。

（回答者交代）

私の方からは広報についてお答えさせていただきます。まず会館を知ってもらうという認知の部分をもっと広げていきたいと考えております。現在の交流会館に関しては、近所の人たちに利用してもらっているという状況が多いようでして、そういった地域での活用というのはもちろん重要ですが、もっといろんな方に交流会館を使っていただきたいといったことを感じております。そういったことを考えますと、館内に関しまして、掲示物の工夫ですとかアートギャラリー

の工夫を加味しながら、先ほどお話ししました通り、SNSやホームページなどウェブでの広報にも力を入れていきたいと思っております。

(回答者交代)

こちら市民交流会館という名のつく施設ですけれども、市民同士の交流という場としてもうちよっと機能できるのではないかと我々は考えました。プレゼンテーションにありますとおり、年間のスケジュールでも6つの機能に沿っていろんなイベントや講座を企画しています。ホームでありフィールドであることという大使命を受けて我々は既にダンスのサークルや何か活動するサークルが場所を借りることがありますが、そのサークル同士が交流する場もイベントなどを通じてもっと作っていききたいと、それを踏まえての市民交流会館、大きな意味での交流につなげていききたいということで事業を提案させていただいております。

B委員) 松戸の強み、あるいは特徴を生かした提案が何かございましたらお願い致します。

A者) 松戸の強みといったところは、地域の人たちが市民活動といったところで、それぞれがサークルをつくっていたり、いろんなところで活動するといったところが強みではないかなと思います。ただ個々が頑張るだけではなく、それをつないでいくといった部分が先ほど言ったように交流会館を通してそれぞれがつながっていくといったところで、今孤立化されているといった部分をゆるやかにつないでいくといった場になっていくという部分で一番の強みはそこかなと思います。

C委員) 松戸市の一番はずれにありますね、松戸市民に十分に活用していただくというにはちょっと辺鄙ですし、道路を挟んですぐ一般住宅がありますから、中々よその地域から何キロも時間をかけていくということは厳しいかなと思います。既に利用されている方たちの自主的な活動をどのようにサポートしていくのか、そういったようなことがちょっと触れられていないと思いました。その空いている時間を自主活動として使おうとしているのでしょけれど、率にしたら相当埋まっている状態でそれをどこに埋めていくか、というのがちょっと心配だと思います。

A者) お部屋の利用率は高い方だと伺っております。ただ我々が提案しているよろず講座やワークショップというのは、会議室を使わずともロビーで、環境のいい場所なのでオープンスペースを利用して、現在利用している方の活動を邪魔しない工夫を考えて企画しております。なので、より会館を有効活用する提案となっております。

会館を見学させていただきまして、お婆さんとお孫さんが2人で利用されていたのですが、小金原の方からそこを利用しているというお話でした。遠方でも会館に魅力を感じることができ、地域に限らず市全体の交流の場となるのではないかなと思います。

D委員) 確認ですけれど、防災機能についてどのような提案があるのか、もう一度お願い致します。

A者) まずイベントについてお話をさせていただきます。既にかまどベンチなど防災機能に関する設備が備わっていますので、そういったものをこういう風に使えますよ、と経験していただくイベントであったり、防災訓練を多世代で楽しみながらピクニックのような感覚で大事な部分を抑えるものだとか、デイキャンプで実際に避難するときのテントの張り方など楽しみながら実践するというイベントを中心に考えております。

収容避難所として指定されておりますし、避難所運営委員会を立ち上げるべきだと思っています。既にあるのであれば、ぜひ協力させていただきたいと思っております。

あとは、発電や蓄電など既存の設備を活かしながら通信を維持するとともに、Wi-Fiの無料開放等を行っていきたいと思っています。そういった観点で日頃から防災への啓発イベントや実際の有事の際の対応を組み合わせるというスタンスで臨みます。

E委員) スタッフで近くにお住いの高齢者を雇いたいというお考えですが、どの程度の割合で考えているのか、高齢者だけだと力仕事など不安ですので、その辺のバランスをどう考えているのでしょうか。

他にも近隣の住人からの利用が多いという現状に対して、どのように全市的に人を呼び込むのかという取り組みについて教えていただけるとありがたいです。

A者) 高齢者の雇用のバランスについては、昼間の雇用に関しては母親層ですとか地域で就労などワークライフバランスを求める女性などを雇用するのが適切かなと考えております。もちろん、その中でも高齢者の方が就労するというのはあると思いますが、割合としては高齢者の方に活躍していただきたいのは夕方や夜の時間であり、この時間帯というのは母親が育児に忙しい時間帯でありますので、働きに出てくるというのは現実的に厳しいということがあります。そういったところで、先ほどお話のあったとおり力仕事など動きの激しい部分は昼のうちにやっておいて、夕方や夜の安全管理やコミュニケーションといったところを行っていただくといったバランスを考えております。

それから広報ですけれども、今は近隣の方々に使っていただいているという実情がある中で、いろんな地域の方たちに知っていただくためには、会館自体が魅力的であることをどれだけ発信できるかということが重要だと思います。広報の強化としては、どういった層がどの時間帯に来てほしいかのリサーチを踏まえてどのようなイベントを行うか等、館内での設置の部分や広報の部分すべてを含めて一つ一つ考えていながらフォローしていきたいと考えております。

高齢者に関しては市民活動サポートセンターでシニアの方々を採用しているのですが、皆さん力もありますので、頼りになります。周辺地域の五番街などのマンション街の高齢化率は半分を超えているので、かなり需要はあるのではないかと

と考えております。

また、全市的な施設という面では、近隣の方と全市の方、どちらも気持ちよく利用していただくに当たり、活用対話委員会というものの設置を考えております。地域住民の方や全市から交流会館を利用されている方とどのように施設を活かしていくのか、どのように利用していくのかということ話し合う場を設定することで、近隣の方も全市の方も利用しやすい施設にすることを目指していきます。

F委員) 2点ほど質問いたします。施設の維持管理というハード面での提案について、どんな準備があってどんなノウハウをお持ちなのか、施設管理についても大丈夫だという根拠についてお示してください。

もう1点、経営の安定性について伺います。負債の償還状況について問題ないでしょうか、ということと現在市からの委託事業(サポートセンター)をされておりますが、そちらが終了した際も経営は安定していけるのかという今後の見通しも含めてお話をください。

A者) まずハードの面に関してですが、今現在のスタッフだけでは専門的知見に欠けているという認識がありましたので、ネットワーク団体の経験・知識を持たれている方にハード面、点検や修繕の点で監修していただく予定となっております。専門家とのタイアップにより実現していくというのが私どもの姿勢です。もう一つ財政的な状況ですが、今回の提案内容で今までの運営費より安く提案できたかなと思いますが、その中でワークライフバランスを維持し、きちんと働けるための体制を整えるということで予算の提案をさせていただいております。なので、この事業単体で予算の問題がないということと、他の事業においても事業ごとの独立採算制をとっており、団体全体を維持するための費用をどのように一般管理費としていただくかということについては常々議論してお仕事させていただいております。今回の内容についても事前に協議して提案させていただいておりますので、他の事業が減少した場合でもこの事業に影響はないと確信しております。

<質疑応答終了>

<A者意見交換>

A委員) A者のプレゼンテーションが終わりました。今のプレゼンテーションを踏まえて意見をいただきたいと思います。今の状態では、比較は難しいので次の進め方等何かありましたらお願い致します。

B委員) 内部委員の方が先に質問された方が、かなり具体的なことをお聞きになっていたので、先ほどは時間が中途半端になってしまったのでどうでしょうか。十分

にお話を聞けなかったですね。

F 委員) 質問って出尽くすまでですか。時間で切りますか。

事務局) 20 分の中で出尽くすまでということをお願いします。

A 委員) 回答している間は、時間がオーバーしても答えていただくというようにした方がいいと思います。

< B 者プレゼンテーション >

< B 者質疑応答 >

A 委員) 交流会館で、ここが弱いな、ここをこういう風にした方がもっとよくなるのではないかと等特に気づかれた点がありましたらお願いします。

B 者) 今足りない提案といたしましては、市民活動とスポーツの側面においてもっと伸ばせるのではないかと思います。スポーツ施設や市民活動に関する施設が市の南側に非常に位置しておりまして、北側に関しては拠点が少ないという認識を持っております。あれほど立派な施設があるので、北側でもスポーツや市民活動ができる場を作るべきとして、市民センターを運営しているノウハウもありますし、体育施設を運営しているノウハウもありますので、私どものノウハウがあれば、必ずや貢献できると思って、今回応募しております。

F 委員) 3 点お願い致します。まず、交流会館は市内全域を対象とした施設でございまして、市内全域から利用者を増やすような全市的な取り組みなどがございましたらお聞かせください。

2 点目は自主事業のことですけれども、いただいた提案の中で自主事業で得た収益の一部は修繕や備品購入に回すとご提案いただいております、具体的にどのぐらいとかどのように考えているのかお聞かせください。

3 点目が、経営の安定性についてということで、グループ全体と構成団体の経営状況はいかがでしょうかということです。負債の償還などに問題がないか、今後の見通しなど教えていただければと思います。

B 者) まず 1 点目の交流会館に市内全域からお客様を呼ぶという企画については、市内の団体さんに交流会館で事業をやらないかと提案やヒアリングをして参りました。その中で感じたのは、意外とすまいるの認知度が非常に低いという風を感じておりまして、半分ぐらいの方々はそんな施設あったの? という意見がありました。駐車場の台数が非常にありますので、車で来館することに問題がありませんから、市全域に声をかけても問題ないかなと思っております。利用促進ということで、現在ケーブルテレビ会社さんと連携しながら、そのコンテンツを使って情報発信することで、動画でわかりやすい発信をすることで市内全域、あるいは

市を飛び越えて利用が促進できるかなと考えております。

2点目の自主事業に関して、自主事業は独立採算で行うという指示がありましたので、バスケットボール教室など一部の講座を有料の会員で行おうかと考えております。そうやって得た収益の何%かを備品の購入とかにあてられればと思います。パーセンテージについては、確定ではありませんが通常50%ぐらいは備品の改修等に充てたいと思います。ただ収益の上がり具合によって要協議ということだけ一言言わせていただければと思います。

最後にグループの負債の件ですが、おそらく有利子負債が多いというご指摘かと思いますが、ゴルフ事業などを手掛けてきた関係でどうしても有利子負債が多い点と、投資産業のため不動産への巨大な投資がございますので、一部負債が高まっていますが、ここ15年で約3分の1に削減できおり、今後、より健全な経営状況を報告できるかと思っております。

C委員) バスケットボールのプロチームの教室など大変魅力的な提案ですが、現在体育館の音がうるさいということで近隣の住人から苦情が来ています。バスケットボールの音なんて第一のターゲットになるのではないかと思います、その辺はどうお考えですか。

B者) そういった情報は得ていなかったもので、要検討かと思っております。その際にドアを閉めてプレイするとか運用の中で音漏れしないように運用したり、近隣の方に実施日をお伝えしたりお声掛けなどして対応していこうかと思っております。どうしても声が高まるといったようであれば、中止も検討いたします。

B委員) 子育て事業に関するご提案はありますか。

B者) 専任の保育士ないし栄養士を配置して、日常的に相談を受けられる体制を作ろうと思っております。加えてイベントやサークル活動の支援とか様々な経験がありますので、求められているものを臨機応変に対応していこうかと思っております。

B委員) 子供に対する支援は具体的によく書かれていますけれども、母親に対する支援というのももう少し説明いただければと思います。

B者) 保護者の方にはやはりサークル活動ですとか、相談できる環境を作ることが一番だと考えておりますので、日頃から保育士などを配置することで相談に乗りながら傾聴というスタイルを教育しておりますので、聞くことを前提に悩み相談などをしていきます。定期的なイベントでより専門的な知識を持った講師の方に来てもらったり、同世代の悩みを持った方々が集まるイベントを開催するような取り組みを考えております。すべて事前にアンケートを取り臨機応変に対応していこうかと思っております。

D委員) ケーブルテレビ会社と提携されているということで、松戸市以外でもニュースの提供とかされていると思うのですが、過去に報道などは結構あったのでしょうか。

B者) 近隣施設を紹介するところでは、日頃からイベントの共有などをしておりまして、

取材に来てもらうような形をとっております。ケーブルテレビ会社さんも日頃の街の情報を探しているというスタンスなので、情報共有をすることでいい関係性を築いているので、これは有効かなと思います。

B委員) 体育館に受付がないのですが、これはどのように考えておりますか。体育館のスタッフの待機場所とかサポートするための場所は。

B者) 体育館の管理人の方が詰めている放送室ですかね、これが2階にあったので、これでは利用者の方の顔が見えませんか、受付がわからないと思うので、時間の切り替えの時には必ず下に降りて顔を見せようと指導する予定です。またインターホンを設置しようと思っていて、来た方は必ずインターホンを押して管理人に声をかけてもらうといった仕組みにしようと思っておりますので、よりコミュニケーションが取れるような環境を作ろうと思っております。

F委員) いわゆる一般的な市民センターの管理と市民交流会館の運営管理でどのような違いがあるとかお考えがあったらお聞かせください。

B者) 市民センターは貸館がメインだと思っています。希望して来た方にお部屋を快適に使っていただくというのが基本だと思って運営しております。本会館は素晴らしい機能もありますし、貸館だけではなく、どんどん事業を展開して子育てや市民活動の機運など6つの機能を高めることも必要だと思って、今回は事業を数多く提案しております。貸館という基本的な業務をベースにすまいるの機能を発信し、市全体の機運を高める役割だと思って事業を提案しております。

<質疑応答終了>

<B者意見交換>

A委員) B者の提案が終わった時点で、委員の方から何かご発言がありましたらお願い致します。

D委員) 市民センターの方でも自主事業をたくさんやられているので、その辺のノウハウは期待できるかなと思います。

A委員) 2つのグループに言えることは、どちらも地元以外から来てもらう魅力づくりというのが課題となっていることですかね。認識は共通していますね。

<C者プレゼンテーション>

<C者質疑応答>

A委員) 施設の運営に関して、特筆するとしたら、ここはもっとこうしたらいいのではな

いか等、提案として強調したい部分があれば教えてください。

C者) パン類やスナック類の販売をミニカフェの力を補うものとして提案しております。施設を利用される方を見ていると、エントランスなどでくつろがれている方が見られます。そういったところでパンなど軽食を提供することで、施設を長く使っていただけることになりすし、また、利用者の方も非常に喜ばれるかと思えます。夕方以降に見に行ったときには、学生が多く残っていますので、そういった方に夕飯の前に補食の意味で提供することで喜ばれるのではないかと思います。

また、もう1点ですが、交流会館は利用者数が多いため、おそらく施設の汚損が激しくなっていくと思えます。3年経過し、これからも汚れなど目立ってくると考えますので、私どもの方で修繕対応や保守管理について同一業者を使うなど提案させていただきました。これら2点が大きいところだと思います。

A委員) 維持管理・補修の面で強化が必要だと認識があったわけですね。パン・スナックの話で事業経歴を拝見すると、給食業務がありますが、食に対して思い入れなどがあるのでしょうか。

C者) 確かに私ども給食業務を手掛けておりますので、ミニカフェについては衛生的に行えるのではないかと考えております。当社独自の事業として衛生点検なども実施しておりますので、より衛生的に安全なものが提供できるのではないかと思います。またグループの中ではコンビニ等で提供しているものもありますので、そういったノウハウを使うことによってさらに色々なアイテムを取り揃えられるのではないかと思います。

E委員) 管理代行する中で、この辺をもう少しできればいいのにな、この辺が弱いかなといった点を提案に反映されていच्छるのか、その分管理代行料があがっているのかなという部分もあるのですが、その辺どうバランスを取って提案されたのか教えてください。

C者) 私どもが考えたものとしましては、施設の利用者数を更に呼び込むことを考えました。呼び込むにあたって一番力を入れたのはイベントの強化となっております。告知のツールとしてSNSを利用しておりますけれど、より多くの方に情報を発信してきていただく魅力あるイベントを企画して足を運んでいただくということを考えております。大きなイベントをするということはお金も多くかかってきますので、その点イベント経費など計上させていただいております。また施設の利用者が増えるということは、汚損も進むので施設清掃についてもお金を上乘せさせていただいております。また、職員を配置することで利用者増に対応していくように考えております。今現在何か足りないではなく、何かを足していくという考えで作っていく、というのが今回の提案となっております。

B委員) 利用者の平等性という考え方を、少し補足して説明をお願いできたらと思います。

- C者) 子育て機能に関しましては、子どもの利用者が増えてきているというのが認識でございます。これからもますます増えていくと思いますので、カウンターに職員を一名配置することを提案しておりますが、フレキシブルに子供が増えてきたなら子供用の受付に職員を配置してしっかり対応していく、また、新規利用者が増えることも想定しておりますので、そういった方への対応をしっかりしていきたいと考えております。
- B委員) もう一点よろしいでしょうか。予約について、まとまった空き時間が出た場合、積極的に自主事業を提案するとなっておりますが、現実的に可能なか疑問に思いまして、急に使いたくなる利用者もいるのではないかと、そのところとまとまった空き時間を利用することのバランスをどうとっていくのかお聞かせ願えますでしょうか。
- C者) 施設の予約システムは一か月単位で予約状況が出まして、その段階で転記をし、この時間が空いていそうだなと先に確認させていただきます。毎週使われる方もいますので、そういった方たちには事前にお話しさせていただくなどして、一か月単位でここはできそうだなという部分を見つけました時に提案させていただきます。
- F委員) 2点お聞かせください。御社の体制にエリアマネージャーというものがございますが、交流会館の運営にどのような役割を果たすのかについてお聞かせください。もう1点、経営の安定性をお聞かせください。現状と今後の見通しについて教えてください。
- C者) エリアマネージャーの役割についての部分でございます。弊社はそれぞれの施設ごとにエリアマネージャーを必ず1人配置しております。主にすることとして現場の巡回、巡回していく中でどういった運営状況をしているのか、施設の現状としてどういったことが起こっているのかを必ずヒアリングしてまいります。また、職員の悩み等をエリアマネージャーが声掛けしていく中で困っていることがないかを聞いて、会社で対応できることがあるかを考えます。大事なものとして貴市との連絡役となっております。現場がどうなっているのかをリアルタイムで情報をお伝えしていきたいと考えております。また、消耗品の購入など業者のやり取りはエリアマネージャーが担当しております。簡単に説明できるものは以上のものかと思います。
- 経営の安定性は、会社自体はグループの中でも業績が優秀でして、毎年右肩上がりで成長してきている会社でございます。その意味では私どもの会社単体で考えると、今後もしっかりした体制でやっていけるのかなと思います。グループ全体でみると少し落ち込んでいる部分もありましたが、切り離しをしますと今後はV字回復になるかと思っておりますので、経営につきましても今後安定的にやっていけるかと思っております。

C委員) 今のところ、文化施設での提案が多いようですが、体育館に関してお伺いしたいのですが、体育館に配置するスタッフとしては、こういった人員を配置する予定ですか。

C者) 体育館に配置する者ですが、1人は必ず配置いたします。基本的に利用者がいない時間は用務的なことをやっていただく予定ですので、男性を考えております。男性の方が草刈りや整備などを行い、利用者をお迎えできるようにいたします。器具等使い方を理解した者を配置いたします。また施設が離れておりますので、フレキシブルに対応できる方を想定しております。

C委員) 子どもの利用も多くなってくるため、近隣の方への配慮ですが、騒音の苦情がありますよね。

また、現在は文化施設で受付をしてから体育館に来る為、動線が非常に大きいため利用者に不自由ですが、今後体育館にぱっと入れるような対策など考えておりますか。

C者) 金銭のやり取りがあるため、どうしても今のシステムだと受付のある文化施設になってしまうかなと思いますが、これが改善されるような策を私どもも考えていきたいと思います。

また、近隣の方への配慮ですが、音の出るものはボールを使ったものになるかと思いますが、近隣の方からの声が多いようであれば防音対策や制限が必要になってくるかと思っておりますので、しっかりと貴市と協議して回答していきたいと思っております。

<質疑応答終了>

<C者意見交換>

委員長) 3グループのプレゼンを聞いたうえで、採点していただく前に確認しておきたいことがありましたらすり合わせをしておきたいと思いますがいかがでしょうか。特によろしいでしょうか。

それでは他に質問がございませんようでしたら、以上をもちまして、第2回松戸市市民交流会館指定管理者候補者審査委員会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。お疲れ様でした。

松戸市市民交流会館指定管理者候補者審査委員会 議事録（第3回）

1. 日時

令和元年10月11日（金）14時00分～15時00分

2. 場所

松戸市役所 議会棟2階 第三委員会室

3. 出席者

<審査委員>

委員長 安登 利幸 氏（学識経験者）、副委員長 笹川 昭弘 市民部長（市職員）、
委員 中田 範子 氏（学識経験者）、藤井 敦 氏（有識者）、
市毛 一己 行政経営課長（市職員）、宮間 恵美子 市民自治課長（市職員）

<事務局>

市民部 門 良英 参事監
市民自治課 岩月 慶一 専門監、直江 卓 課長補佐、佐藤 優 主任主事、
桜井 秀樹 主任主事、北島 真菜美 主任主事、横塚 あずさ 主事、
松本 謙 主事補

4. 次第

(1) 開会

(2) 議事

- ① 審査評価表集計結果（仮）の発表
- ② 委員間での意見交換
- ③ 審査評価表の修正及び提出
- ④ 審査評価表集計結果（最終）の配布
- ⑤ 交渉権者の決定
- ⑥ その他

(3) 閉会

5. 配布資料

- (1) 第3回松戸市指定管理者候補者審査委員会 タイムスケジュール
- (2) 松戸市市民交流会館 指定管理者審査評価結果一覧表（仮）
- (3) 松戸市市民交流会館 指定管理者審査評価表
（第2回審査委員会で各委員に採点いただいたもの）

6. 議事概要

(1) 事務局より本日の流れを説明。

(2) 議事

① 審査評価表集計結果（仮）の報告

事務局より、第2回選考委員会終了時点での審査結果を報告する。

A者の合計点は84.8点。最低基準である72点を上回り、6名のうち5名の委員が最低基準を上回る採点を行っていた。

B者の合計点は98.0点。最低基準である72点を上回り、全委員が最低基準を上回る採点を行っていた。

C者の合計点は90.4点。最低基準である72点を上回り、6名のうち5名の委員が最低基準を上回る採点を行っていた。

<質疑応答>

なし

② 審査評価表集計結果（仮）について協議

<意見交換>

※A委員（外部委員）、B委員（内部委員）、C委員（外部委員）、D委員（外部委員）、E委員（内部委員）、F委員（内部委員）

A委員) 順番に19項目を見ていったほうがよろしいでしょうか。

事務局) 全体で見ていただき、気になる部分があればお話しください。

A委員) 全体のバランスとか、自分の評価が他の人と違うとか色々気づかれた点があるかと思います。順番に見ていくと、結果的にはBが一番高くて、その次がC、それからAとなりますが、総評価として最低基準をクリアしているということですね。

B委員) それでは、我々施設の管理をお願いする立場ですから、その施設を管理運営していくうえでの、法人の特性を生かして地域のためにどういうメリットがあるか、専門的な知識がないものですから、3者のプレゼンを聞いて、自分の感覚で行きますとA者はNPOの方の集まりで付き合いがありまして熱意などは感じられましたが、システムチック的なノウハウがちょっと見えなかったかなと感じます。B者とC者の方はいろんなことをやられているので、そういった部

分の強みがあるのかなあといった感じを受けてしまったので、その辺は皆さんの専門的な知見から感想なり教えていただけるとありがたいと感じます。

A委員) わかりました。では外部委員の方でそれぞれプレゼンを聞いてこういう風を感じたとかお話しただいて参考にしたいと思います。ではC委員お願いします。

C委員) 私は子供にとっての、または親子にとっての子育て支援などがあるのか、遊び場としての機能があるのかという点から見てしまいまして、結果を見ますと皆さんとは違う視点で採点しているので、ひとこと言わせていただきますと、B者なんですけど、全体的な元気になるというメッセージは受け取りましたが、支援が必要な方への機能というのがどれくらいあるのかがちょっと見えなくて、質問で子育て機能に関する提案について質問させていただいたときに、十分な受け答えができていないという風を感じまして、もしB者に決定した場合にはそのようなところを工夫されると、もっと色々な方が安心して利用できる場所になるのではないかと思います。

C者に関しましては、子どもの場所に関するところで平等性といったお話がありましたけど、大人に対する平等性と、子供に対する考え方に隔たりが見えました。子どもに平等性を要求するのなら、大人も平等に利用できるようにしなければならないと思います。それぞれのニーズに合わせて両方が気持ちよく利用できるような仕組みづくりをもう少し多角的に考えていただけるといいかなと思いました。

D委員) 将来的にはA者のようなNPOのような方がきちっと管理していただくのが理想だと思いますが、ただちょっと力不足かなと思います。やはりパートなどの不安定な雇用形態で市民を守れるような仕事ができるのかなというのが一番引っかかったところですね。何年か後に指定管理者をお願いしたら親切な管理者になっているのではないかなという期待は持っております。

B者は松戸では非常に古い関わりがある方たちですね。私は利用する立場からの質問をさせていただきました。明るくて健康的な雰囲気がある地域の方に元気を与えてくれるのではないかなという期待を持ちました。

C者の方はスケールが大きすぎて、我々の希望する規模のものにあまりなれていないのではないかなというのがありましたし、ちょっとインパクトに欠けていたかなと思いました。

感覚的なところで点数を付けましたが、人と接する仕事は、印象が大事なのでそれをやっていただけるかなという期待を持っています。

A委員) お二人の先生が言われたことはかなり共通点がありますけれど、気持ち的にはAグループみたいなNPOにお任せしたいのですが、一方で個別に資料で評価するとすると、子どもも大人も豊かなホームへと書くだけでは足りないですね。具体的にこれをしますという風に書かないと。そこがあまりなくて表現が抽象

的であったため、あまり書き馴れていないのかなと思いました。

一方でBは、経営状況の話ですが、投資をしておりますので財務的には低くなる。Aはそういったものがないので高くなる。比較の対象にならないと思います。中小企業診断の形式的な部分が出ちゃったのかなと。業態が違うと比較できないと思います。

Cは話を聞いていると以前もやっていた風を感じられたのですが、その割には提案がちょっと物足りない部分がありました。

Bで印象に残ったのはバスケの教室で、他の地域から呼び込むという上ではこういったものが呼び水になるのかなと思います。具体的な提案もされていたので、インパクトがあって面白いのかなと思いました。

E委員) 私は評価をするうえで、資料とプレゼンだけで基本的には審査をすると考えていたのですが、A者の方はやはりもうちょっと具体的に書いていただけると評価が上がったのではないかなと思います。わかりやすかったのはB者で、自主事業もやっていますよという実績などを加味して、B者の評価が一番高くなりました。

F委員) 私もA者には期待していたのですが、プレゼンで三つのNPOがやっているというガバナンスにちょっと管理していくうえで大丈夫なのかなと感じたところ

です。
C者は現状維持みたいに見える、もう一歩提案があればよかったかなあという感じです。

B者はやっぱり元気で体育施設については利用率が低い中で新たな提案をいただいているというところが今後期待できるかなと思ったところです。

A委員) それではみなさんの意見を参考にして、評価を修正する部分があれば修正するというので少し時間を取りたいと思います。

③ 審査評価表集計結果（最終）の報告

事務局より最終審査結果を報告する。

A者の合計点は86.2点。

B者の合計点は98.8点。

C者の合計点は89.4点。

いずれの団体も最低基準である72点を上回る評価だった。

④ 交渉権順位の決定

委員長) この採点結果を踏まえて、松戸市市民交流会館の交渉権者1位はB者ということではよろしいでしょうか。念のため、挙手をよろしいでしょうか。

(全員挙手)

ありがとうございました。それでは、すべての方から承認という結果をいただきました。この結果をもって松戸市指定管理者候補者審査委員会は以上の結果を市長に答申させていただきたいと思います。

⑤ その他

事務局) 今後の流れについて、ご説明します。

まず、本日の審査結果を、本委員会の答申として市長に報告を行います。

市長は、審査委員会からの答申を踏まえ、指定管理者候補者を決定し、その結果を応募団体に文書で通知します。

その後、事務局がB者と事業内容などについて協議を行い、詳細について協議が整った時点で指定管理者候補者として、12月の松戸市議会に議案を提出いたします。

議会の承認を経て正式に指定管理者として指定し、令和2年度8月1日から指定管理者として業務を行うこととなります。

委員長) 審査委員会については、以上で閉会といたします。

お疲れ様でした。ありがとうございました。